●展覧会別観覧状況

令和3年度

			常設展示	特別展						合計
			第Ⅰ期から第Ⅲ期、前年度第Ⅲ期	海と山との対話	西洋版画の魅力	魔法の美術館	国松登展	美術をまるごと楽しもう！	計	
会期			4/1～3/31	4/1～4/4	4/24～5/16	7/17～9/26	10/9～12/5	12/25～3/31	5回	
開催日数			221	4	20	62	51	78	215	221
観覧者総数			8,719	268	1,145	13,470	2,337	2,047	19,267	27,986
1日当観覧者数			39	126	57	217	46	26	90	127
有料	個人	一般	1,578	21	607	4,980	639	812	7,094	8,672
		高大生	361	2	50	289	38	256	640	1,001
		小中生			29	195	10		234	234
		計	1,939	23	686	5,464	687	1,068	7,968	9,907
	団体	一般	30	2	15	28	57	15	117	147
		高大生	21	2	0	4	21	0	27	48
		小中生			1	1	0		2	2
		計	51	4	16	33	78	15	146	197
	計		1,990	27	702	5,497	765	1,083	8,114	10,104
無料	免除者		1,905	80	219	1,078	766	419	2,562	4,467
	招待者		3,114	115	214	1,223	717	375	2,644	5,758
	無料		1,710	6	10	5,672	89	170	5,947	7,657
	計		6,729	201	443	7,973	1,572	964	11,153	17,882

令和4年度

区分			常設展示	特別展						合計
			第Ⅰ期から第Ⅲ期、前年度第Ⅲ期	美術をまるごと楽しもう！	奈良原一高―王国 Domains	魅惑の西洋近代絵画	金子鷗亭と中野北溟	道南美術のクロニクル	計	
会期			4/1～3/31	4/1～4/10	4/29～6/19	7/16～9/25	10/8～12/4	12/24～3/5	5回	
開催日数			244	9	45	62	51	57	224	244
観覧者総数			13,677	367	2,462	11,721	2,948	2,408	19,906	33,583
1日当観覧者数			56	41	55	189	58	42	89	138
有料	個人	一般	3,271	117	991	7,459	1,099	745	10,411	13,682
		高大生	460	21	55	564	54	111	805	1,265
		小中生			22	204	28		254	254
		計	3,731	138	1,068	8,227	1,181	856	11,470	15,201
	団体	一般	34	0	31	155	61	14	261	295
		高大生	0	0	22	2	0	0	24	24
		小中生			0	0	0		0	0
		計	34	0	53	157	61	14	285	319
	計		3,765	138	1,121	8,384	1,242	870	11,755	15,520
無料	免除者		3,446	63	272	927	217	676	2,155	5,601
	招待者		4,558	144	714	1,420	1,011	712	4,001	8,559
	無料		1,908	22	355	990	478	150	1,995	3,903
	計		9,912	229	1,341	3,337	1,706	1,538	8,151	18,063

●関係者名簿及び職員

北海道立函館美術館協議会委員

令和3年度 （敬称略 ◎会長 ○副会長 その他は五十音順）［協議会開催 令和3年9月書面開催／令和4年2月）

氏名	所属団体・役職	在住地
◎仲 井 靖 典	函館市立本通中学校長	函館市
○木 村 健 一	公立はこだて未来大学教授	函館市
石 岡 寿 子	七飯町立大沼岳陽学校教諭	七飯町
今 村 美 香	カラーコーディネーター、色彩学講師、イメージコンサルタント	函館市
佐 藤 希 絵	函館市PTA連合会子育て副委員長	函館市
川 島 眞 一	株式会社エルフィン代表取締役	函館市
小 宮 伸 二	美術家	函館市
武 井 佳 子	函館市文化団体協議会副会長	函館市
梨 木 悟	函館商工会議所事務局次長	函館市
川 村 真 一	函館市教育委員会生涯学習部長	函館市
三 浦 辰 治	北海道新聞函館支社長	函館市

（任期：令和2年8月22日～令和4年8月21日）

令和4年度 （敬称略 ◎会長 ○副会長 その他は五十音順）［協議会開催 令和4年10月／令和5年2月］

氏名	所属団体・役職	在住地
◎仲 井 靖 典	函館市立本通中学校長	函館市
○木 村 健 一	公立はこだて未来大学教授	函館市
石 岡 寿 子	七飯町立大沼岳陽学校教諭	七飯町
今 村 美 香	カラーコーディネーター、色彩学講師、イメージコンサルタント	函館市
川 村 真 一	函館市教育委員会生涯学習部長	函館市
熊 木 世 子	飲食店パート	函館市
小 泉 亜希子	函館市PTA連合会子育て副委員長	函館市
桜 花 晶 子	奥尻町教育委員会社会教育主事	奥尻町
佐 藤 正 基	北海道新聞函館支社長	函館市
武 井 佳 子	函館市文化団体協議会副会長	函館市
吉 田 麻 子	株式会社カラーディア代表取締役	函館市

（任期：令和4年8月22日～令和6年8月21日）

職員

令和3年度 （令和3年4月1日～令和4年3月31日）

職名	名前、在職期間
館長(非常勤)	大橋 則之 （令和3年4月1日～）
副館長兼総務課長	兼廣 信也 （令和2年4月1日～令和4年3月31日）
総務課	
主査	宮崎 真志 （令和3年4月1日～）
主事	齊藤 麗実 （令和2年4月1日～令和4年3月31日）
主事(非常勤)	三浦 伊織 （昭和61年9月1日～）
	上野 泉 （平成元年10月1日～）
	星野 薫 （平成2年4月1日～）
	福田 文子 （平成7年4月1日～）
	細野 順子 （平成9年9月1日～）
	小平 陽子 （平成15年4月1日～）
	山名田 祐美 （令和2年4月1日～）
学芸課	
課長	村山 史歩 （令和2年4月1日～）
主任学芸員	柳沢 弥生 （平成28年4月1日～令和4年3月31日）
学芸員	石井 紗輝 （令和2年4月1日～令和4年3月31日）

令和4年度 （令和4年4月1日～令和5年3月31日）

職名	名前、在職期間
館長(非常勤)	大橋 則之 （令和3年4月1日～令和5年3月31日）
副館長兼総務課長	志田 亜津子 （令和4年4月1日～）
総務課	
主査	宮崎 真志 （令和3年4月1日～令和5年3月31日）
主事	高橋 洸輝 （令和4年4月1日～）
主事(非常勤)	三浦 伊織 （昭和61年9月1日～）
	上野 泉 （平成元年10月1日～）
	星野 薫 （平成2年4月1日～）
	福田 文子 （平成7年4月1日～）
	細野 順子 （平成9年9月1日～）
	小平 陽子 （平成15年4月1日～）
	山名田 祐美 （令和2年4月1日～）
学芸課	
課長	村山 史歩 （令和2年4月1日～令和5年3月31日）
主任学芸員	関口 千代絵 （令和4年4月1日～）
学芸員	田村 允英 （令和4年4月1日～）

●沿革

昭和52年 7月	北海道発展計画(昭和53～62年)で公立美術館設置計画を策定
昭和54年 7月	道立地方美術館設置調査費を計上
	道立地方美術館検討会発足
昭和54年 9月	道立地方美術館設置専門家会議発足
昭和54年10月	道文化振興審議会に道立地方美術館設置構想を報告
昭和54年11月	道立地方美術館設置構想を策定
昭和59年 2月	道立地方美術館第2号館を函館市に設置することを決定
昭和59年10月	道立函館美術館基本設計開始
昭和60年 1月	道立函館美術館基本設計完了
昭和60年 3月	道立函館美術館施設設計完了
昭和60年 5月	道立函館美術館建設工事起工
昭和61年 3月	道立函館美術館建設工事竣工
昭和61年 4月	北海道立美術館条例の一部改正(条例第26号)により「北海道立函館美術館」設置
	北海道立函館美術館発足
	初代館長　安達　　整　発令
昭和61年 9月	北海道立函館美術館落成、開館記念式
	屋外彫刻除幕式、一般公開
平成元年 3月	第2収蔵庫竣工
平成 2年 4月	第2代館長　田中　俊也　発令
平成 2年 5月	入館者数50万人
平成 5年 4月	第3代館長　田村　志朗　発令
平成 7年 8月	入館者数100万人
平成10年 4月	第4代館長　青野　昌勝　発令
平成15年 4月	第5代館長　平塚　努　発令
平成15年 6月	第6代館長　斉藤　正志　発令
平成15年 9月	入館者数150万人
平成20年 4月	第7代館長　中江　　修　発令
平成24年11月	入館者数200万人達成
平成25年 4月	第8代館長　堤　　邦雄　発令
平成28年 8月	北海道立函館美術館開館30周年記念式典
平成31年4月	第9代館長　原　　光弘　発令
令和3年4月	第10代館長　大橋　則之　発令

建築設備概要

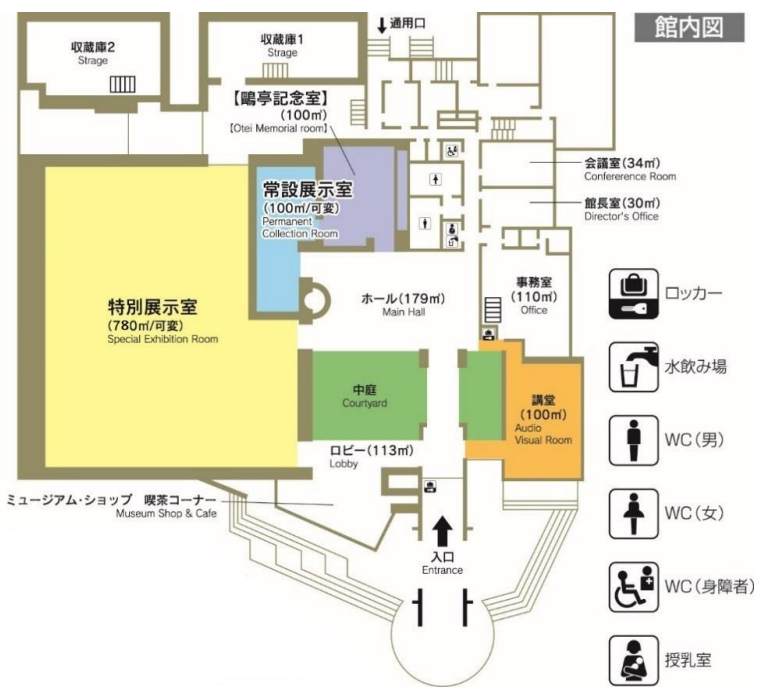
建築概要

位　　置	函館市五稜郭町37番6号
基本設計	開発コンサル･山下･澄･はいや設計共同企業体
実施設計	〃
工事施工者	［建　　築］高木・加藤・高橋・今井・戸沼 共同企業体
	［電気設備］タマツ・三興・藤・北電工・日興 共同企業体
	［受電幹線設備］樺電・梶原共同企業体
	［空調設備］大明・共和・兼立・東亜共同企業体
	［衛生設備］昭栄・富士・奥野共同企業体
	［土木工箏］戸沼･小泉共同企業体
総工事費	1,364,667,000円
工　　期	昭和60年5月22日～昭和61年3月25日
敷地面積	5,124.7㎡（函館市有地借用）
建築延面積	3,290.46㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
仕　　上	〔外壁〕
	外壁　二丁掛タイル（一部金属パネル）
	屋上　アスファルト防水の上、コンクリートコテ押工
	エントランスポーチ床　磁気タイル
	〔内装〕
	床　ゴム系タイル（主展示室～寄木）
	壁　二丁掛タイル、ボーダータイル、石こうボードクロス貼
	天井　石綿吸音板

電気設備概要

受変電設備	受電電圧　6．6KV
	変圧器容量　375KVA
非常電源設備	ディーゼル機関
	100PS　3,000RPM
	発電機　55KVA
	直流電源装置　30AH
動力設備	防災用動力
	排煙機　30KW×1
	消火ポンプ　5．5KW×1
電灯設備	展示室
	LED照明
	ロビー
	ボール型蛍光灯
	高演色性ナトリュウム灯
	講堂　直付型蛍光灯
	埋込型白熱灯
電話設備	電子ボタン電話
放送設備	防災･一般兼用アンプ　60W
ﾃﾚﾋﾞ共聴設備	U.Vアンテナ各1組、ユニット8個
火災報知設備	1式
視聴覚設備	映写設備　1式
	ビデオプロジェクター100型　1式
	VTR編集設備　1式

機械設備概要

空調設備	展示室
	夏　24℃±1℃　55%±3%
	冬　23℃±1℃　55%±3%
	収蔵庫／展示ケース
	年間　22℃±1℃　55%±3%
	吸収式冷温水発生器　2基
	冷房時　1号機　352kw
	2号機　457kw
	加熱時　1号機　294kw
	2号機　382kw
	空気調和器
	主展示室　1系統
	鷗亭記念室　1系統
	収蔵庫　1系統
	荷解室　1系統
	展示ケース　1系統
	ホール・ロビー　1系統
	第2収蔵庫　1系統
給水設備	市水道使用
	（飲料用、雑用水、消火用水）
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水器
消火設備	屋内消火栓
	5箇所、ハロンガス消火設備

■特別展示室（780㎡／可変）
■常設展示室（100㎡／可変）
■鷗亭記念室（100㎡）
■搬入口（56㎡）
■荷解室1（121㎡）
■荷解室2（36㎡）
■収蔵庫1（119㎡）
■収蔵庫2（145㎡）
■機械室1（94㎡）
■機械室2（29㎡）
■ホール（179㎡）
■ロビー（113㎡）
■売店・喫茶コーナー
■講堂（100㎡）
■中庭
■事務室（110㎡）
■館長室（30㎡）
■会議室（34㎡）
■電気室
■監視室
■仮眠室
■公務補室
■管理室